

京都府沿岸における津波浸水想定 説明資料

京 都 府
平成28年6月

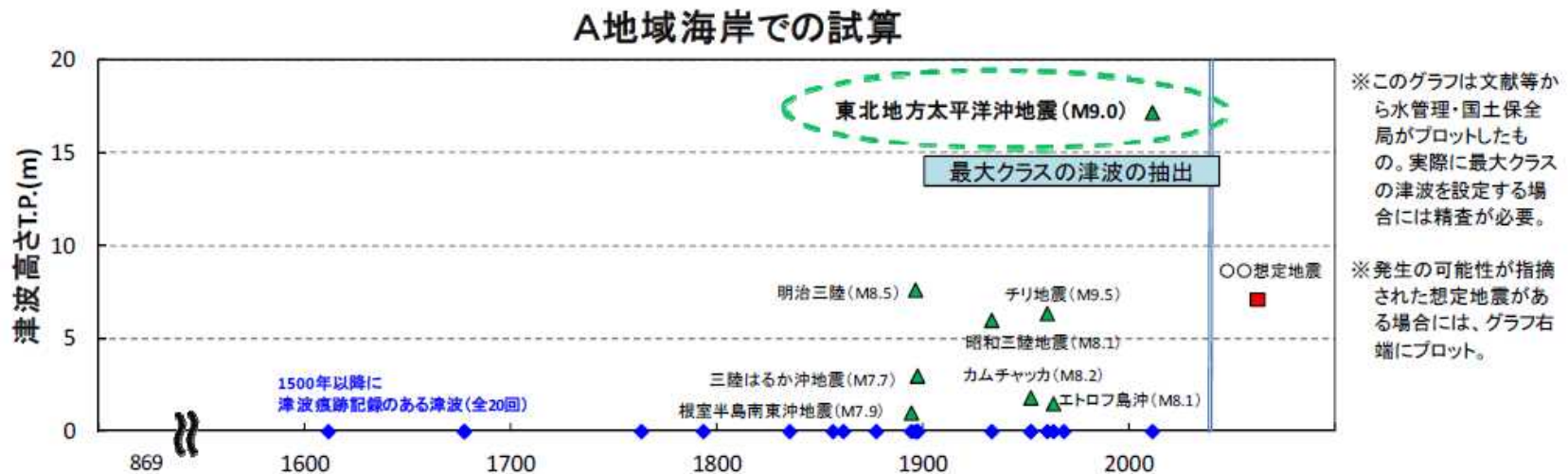
京都府沿岸の概要(今回の津波浸水想定の対象範囲)

- ◆ 府北部の日本海側に位置し、東端の福井県境から西端の兵庫県境までの、全長約315km、3市2町からなる区域
- ◆ 海岸線は、若狭湾国立公園、丹後天橋立大江山国立公園、山陰海岸国立公園に指定されており、リアス式の入り組んだ地形や日本三景の一つ「天橋立」に代表される美しい砂浜が特徴



基本的な考え方

- 1) 地域海岸毎に津波高さ(既往津波・想定津波)を整理
- 2) 下図のようなグラフを作成し、最大クラスの津波となる可能性のある対象津波群の中から、津波高さが最も大きくなると考えられるものを最大クラスの津波として選定
- 3) この津波を対象に、一定の悪条件の下、津波シミュレーションを実施し、浸水及び浸水深を算定

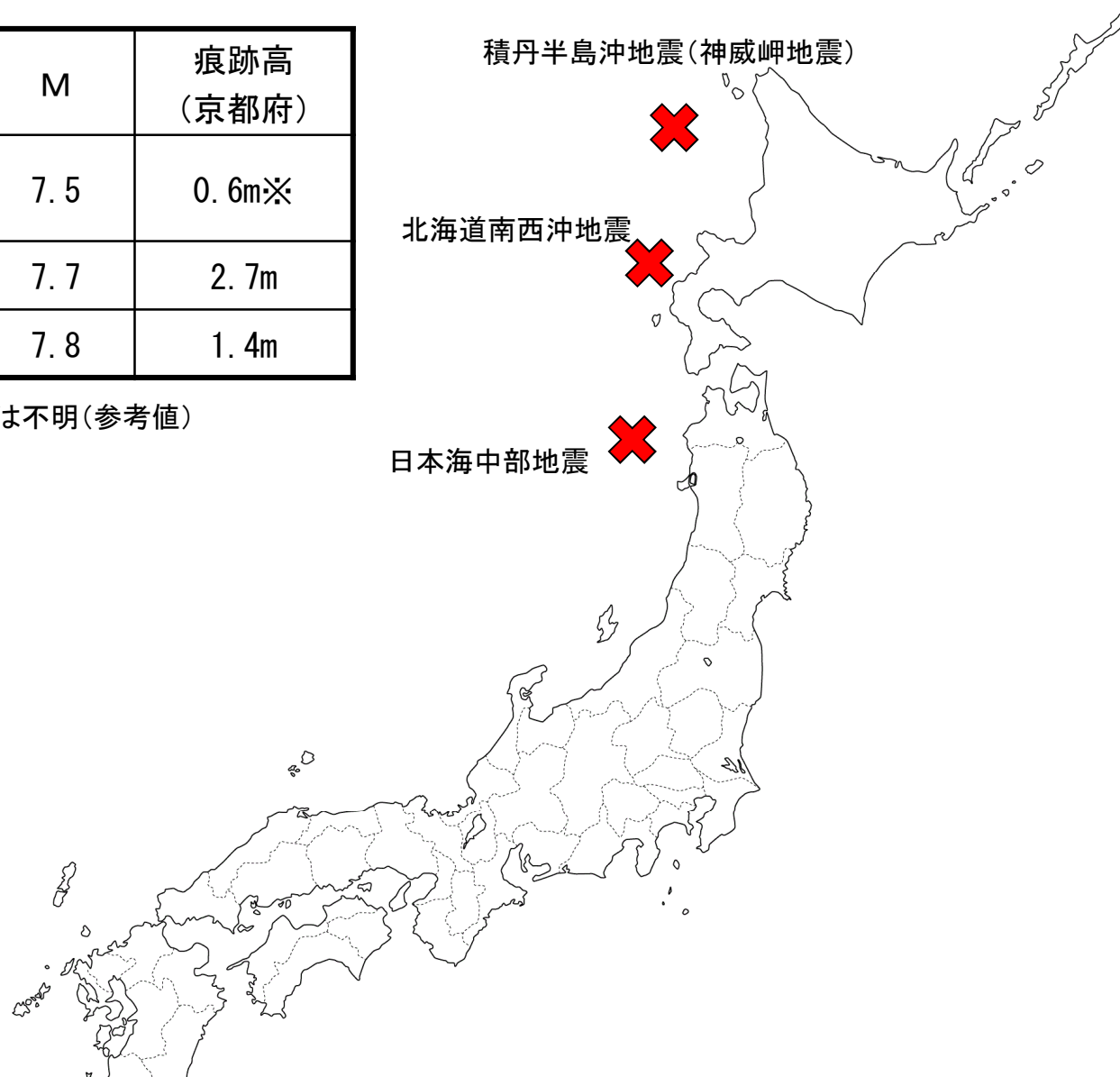


(「津波浸水想定の設定の手引き」(国土交通省水管理・国土保全局海岸室ほか、平成24年10月)より)

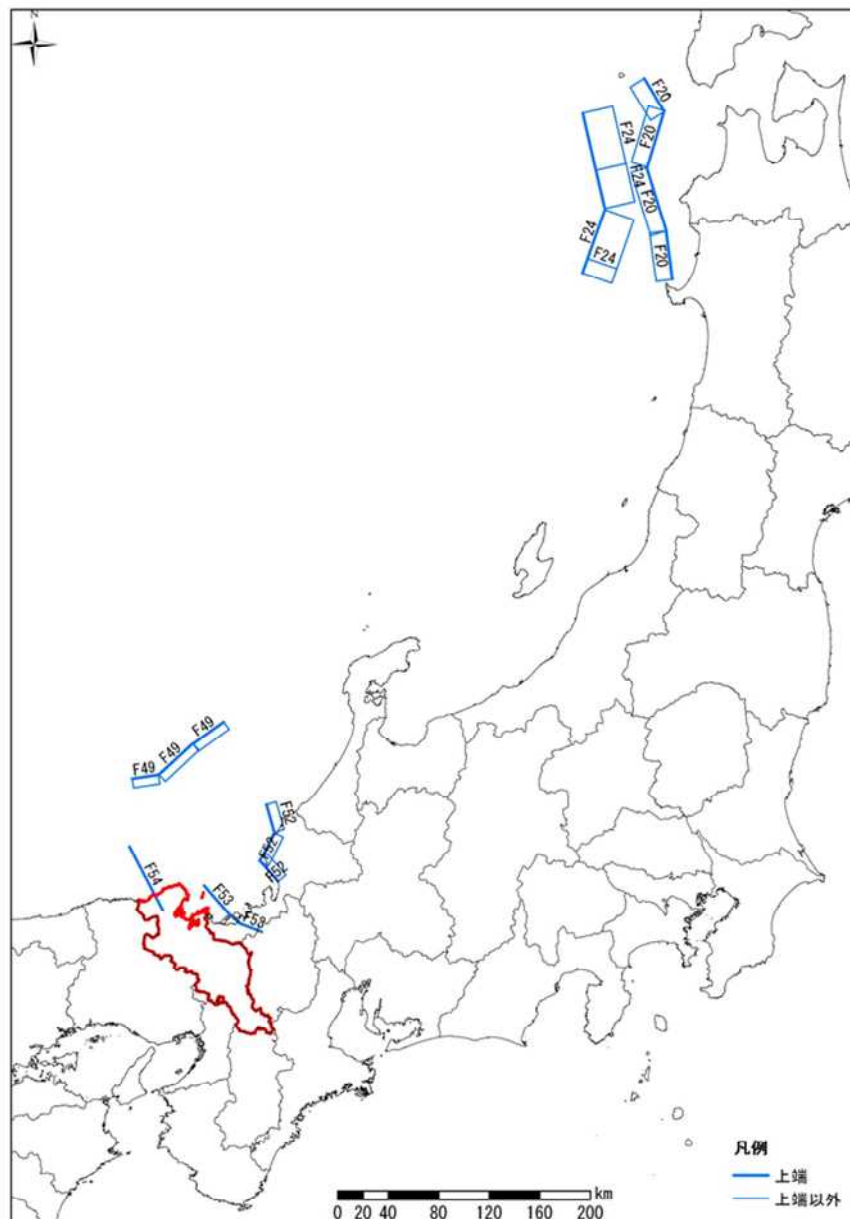
過去に京都府沿岸に来襲した記録等がある既往津波

発生年	地震名	M	痕跡高 (京都府)
1940	積丹半島沖地震 (神威岬沖)	7.5	0.6m※
1983	日本海中部地震	7.7	2.7m
1993	北海道南西沖地震	7.8	1.4m

※印は高さの基準は不明(参考値)



想定津波について



「日本海における大規模地震に関する調査検討会」が設定した津波断層モデルのうち、京都府に最大クラスの津波をもたらすと想定されるものとして、下記の6断層16ケースを選定。

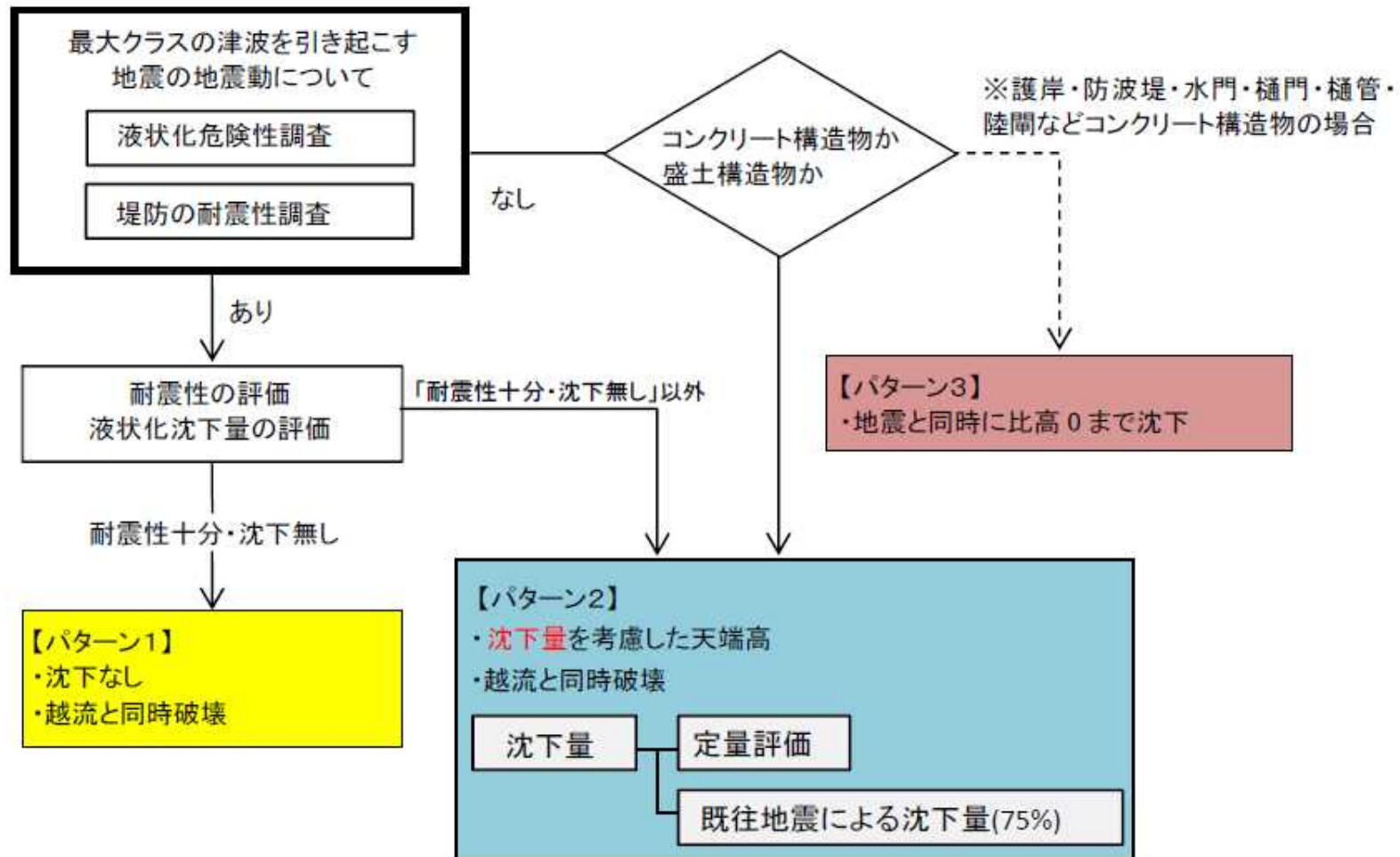
断層モデル	Mw
F20	7.80
F24	7.86
F49	7.39
F49' ※	
F52	7.34
F53	7.21
F54	7.19

※F49'断層は最大せん断応力方向から求めたすべり角を採用した断層。

「日本海における大規模地震に関する調査検討会」においてはこのすべり角を基本に上下方向の変位量が大きくなるようすべり角を設定している。

各種計算条件について

- 1) 潮位については、計算領域毎に「朔望平均満潮位」を設定(T.P. +0.51m)
- 2) 地震による地殻変動は、①海域は隆起・沈降を考慮し、②陸域は隆起を考慮せず沈降のみ考慮
- 3) 各種構造物の扱いについては、下のフローのとおり、各種施設の技術的評価結果に基づき判定(地震について、震度3以下の場合には構造物が破壊しないものとして計算)



(「津波浸水想定の設定の手引きver2.0」国土交通省水管理・国土保全局海岸室ほか平成24年10月)より

設定した浸水想定の項目について

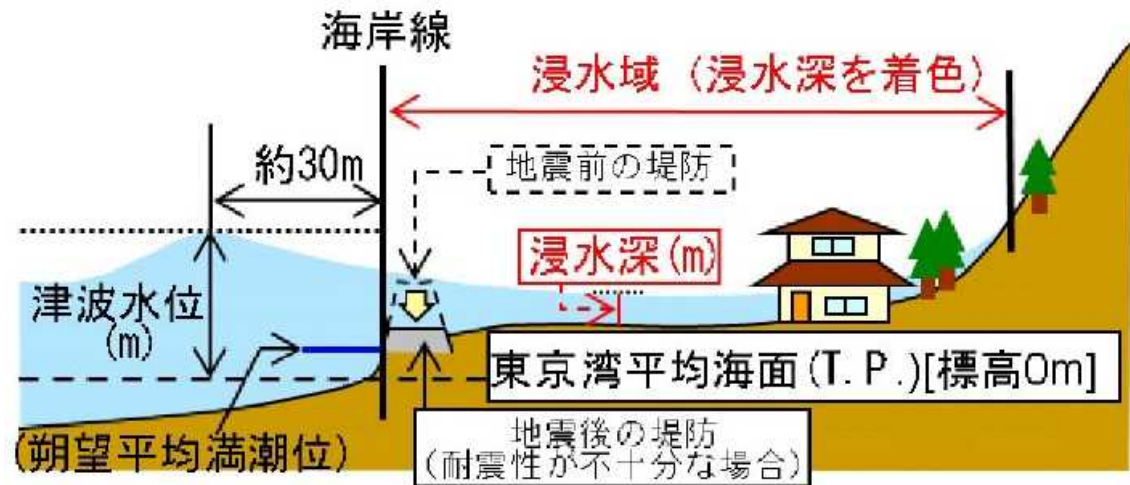
■ 基本事項

○ 浸水域

海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○ 浸水深

陸域の各地点における地面から水面までの高さ



■ 参考事項

○ 最高津波水位

海岸線から約30m沖合の地点における津波を東京湾平均海面(T.P.)から測った高さで最高のも

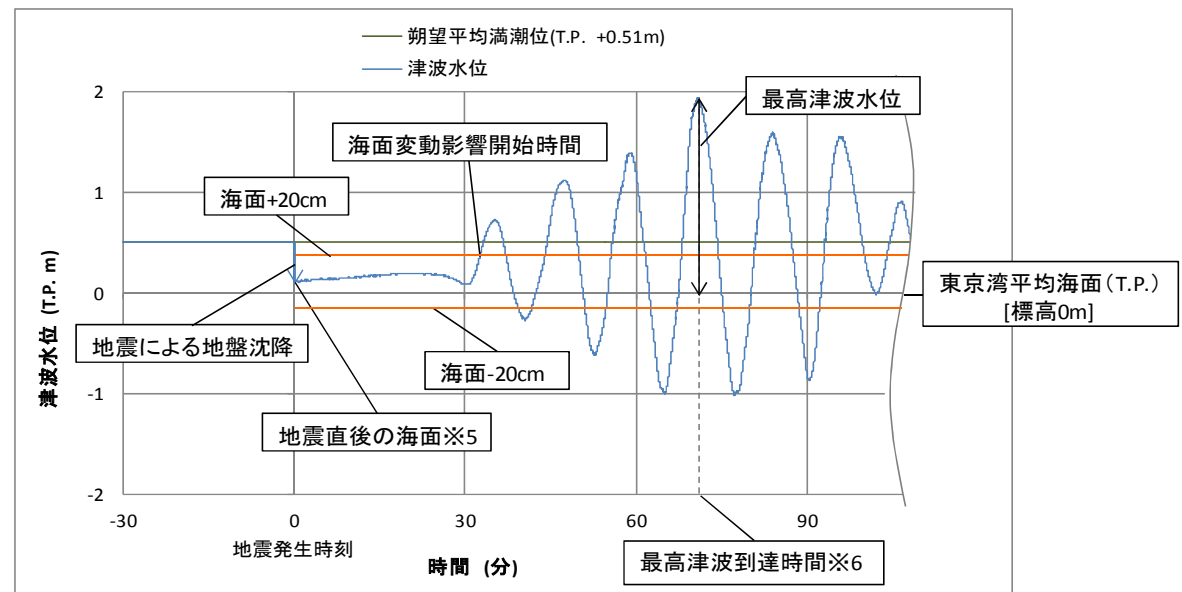
○ 最高津波到達時間

海岸線から約30m沖合の地点における地震直後から最高津波水位となるまでの時間

○ 海面変動影響開始時間

海岸線から約30m沖合の地点において地震直後の海面に±20cmの海面(水位)変動が生じるまでの時間

<各種記載事項の模式図>

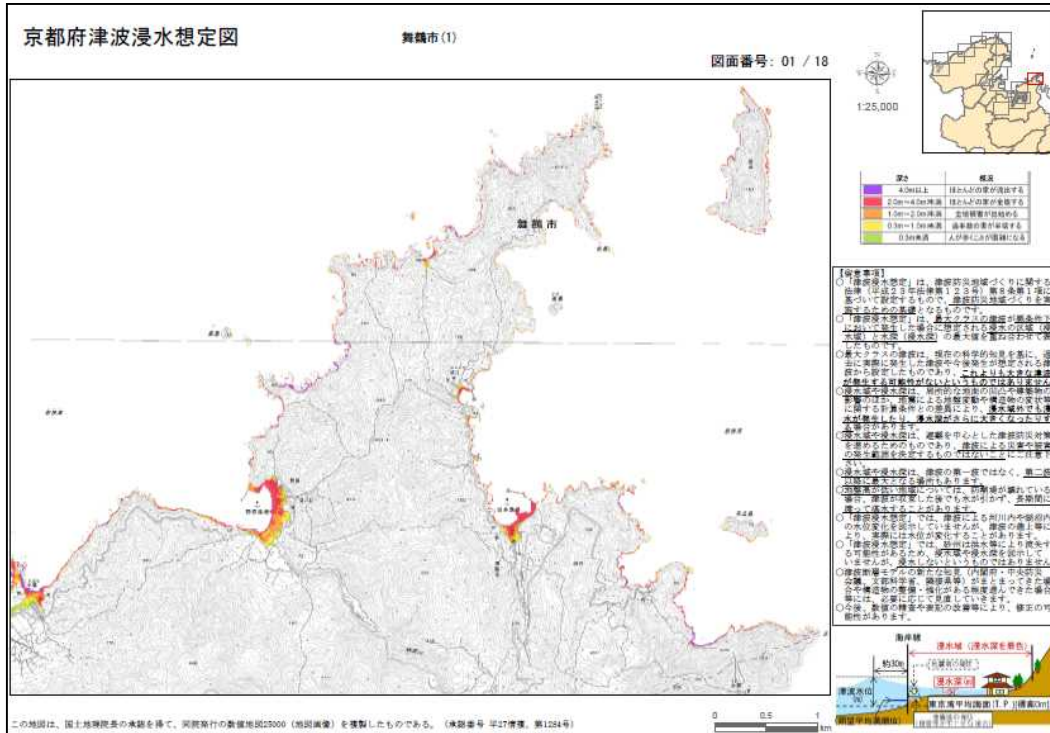


<海面変動影響開始時間等の模式図>

計算結果について

◆ 基本事項

○ 浸水域、浸水深：津波浸水想定図のとおり



津波浸水想定図例

各市町の最高津波水位、最高津波到達時間



計算結果について

◆参考事項

各市町の最高津波水位、最高津波到達時間

市町名	地点	最高津波水位(T.P.)	最高津波到達時間	断層
舞鶴市	田井地区(崖地)	8.8m	45分	F49
宮津市	栗田地区(崖地)	3.5m	49分	F49
与謝野町	浜町区野田地域(平地)	0.6m	262分	F53
伊根町	本庄浜地区(崖地)	10.9m	32分	F49
京丹後市	丹後町袖志地区(崖地)	8.5m	28分	F49

各市町の主要な地域における最高津波水位

市町名	地点	最高津波水位(T.P.)	最高津波到達時間	断層
舞鶴市	浜	1.3m	52分	F53
宮津市	宮津	2.0m	92分	F53
与謝野町	野田川河口	0.6m	261分	F53
伊根町	伊根	2.0m	71分	F52
京丹後市	浅茂川	3.3m	31分	F49

設定した津波浸水想定を活用した取り組みについて

- ◆ 今後、関係部局や市町と協議し、津波災害警戒区域の指定について検討を進める。
- ◆ 沿岸市町では、津波防災地域づくり法に基づく、津波防災地域づくりを総合的に推進するため市町が作成する計画（推進計画）の策定や、津波ハザードマップの策定や住民の避難方法の検討、市町の防災計画の改定などを予定。（府は市町に対する技術的な助言や支援を実施）

參考資料

地域海岸の区分

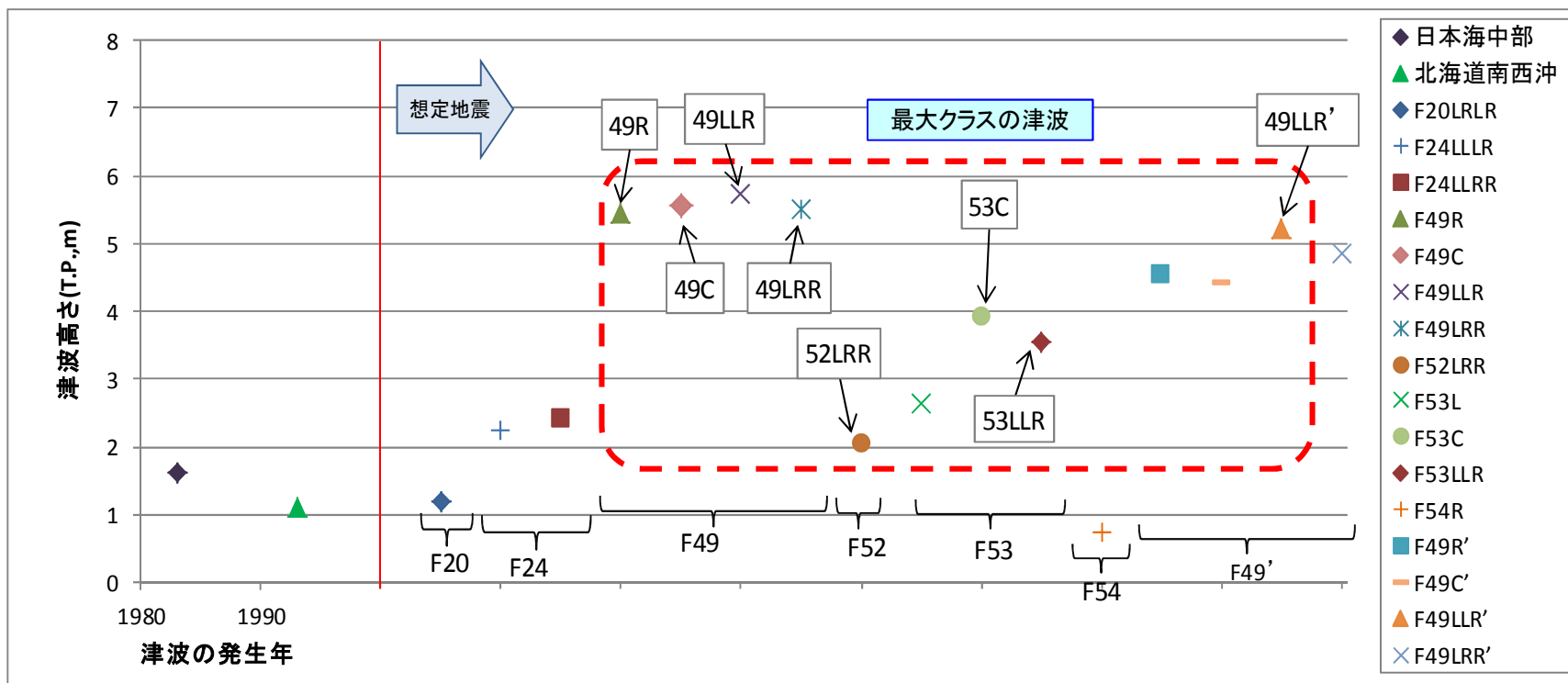
○ 海岸を11の地域(「地域海岸」)に分けて検討を実施

地域海岸	区分理由
地域海岸1	福井県境
地域海岸2	海岸線方向及び岬状の「成生岬」を境に区分
地域海岸3	海岸線方向及び岬状の「博奕岬」を境に区分
地域海岸4	「日本海における大規模地震に関する調査検討会」による津波高さを参照して舞鶴湾入り口を境に区分
地域海岸5	「日本海における大規模地震に関する調査検討会」による津波高さを参照して舞鶴湾入り口を境に区分
地域海岸6	海岸線方向及び「日本海における大規模地震に関する調査検討会」による津波高さを参照して宮津市由良の海岸突端で区分
地域海岸7	海岸線方向及び岬状の「黒崎」を境に区分
地域海岸8	「日本海における大規模地震に関する調査検討会」による津波高さを参照して宮津市田井付近の岬を境に宮津湾口部と湾奥部に区分
地域海岸9	「日本海における大規模地震に関する調査検討会」による津波高さを参照して宮津市江尻付近を境に宮津湾口部と湾奥部に区分
地域海岸10	海岸線方向及び岬状の亀島南端を境に区分
地域海岸11	海岸線方向及び岬状の「経ヶ岬」を境に区分 兵庫県境



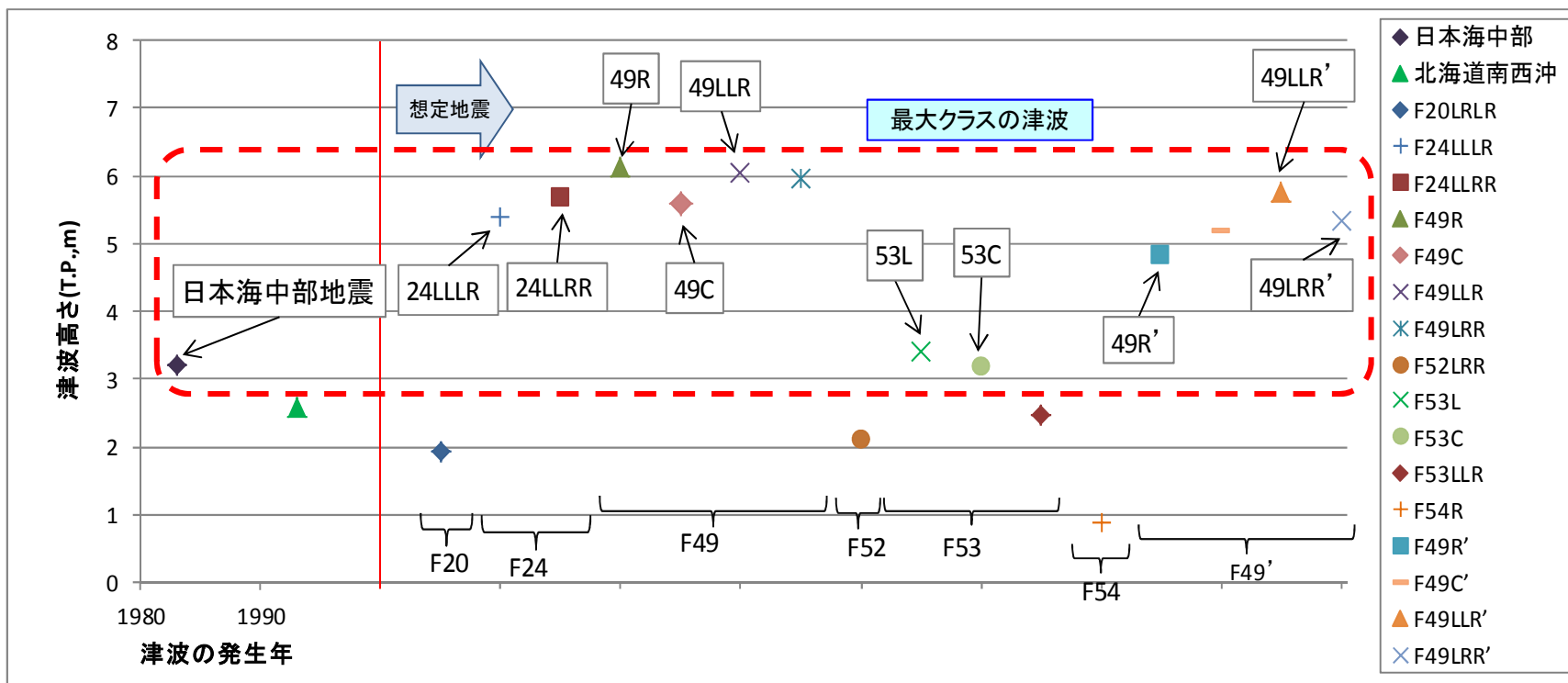
地域海岸の区分(地域海岸1)

地域海岸1
(福井県境～舞鶴市成生岬)



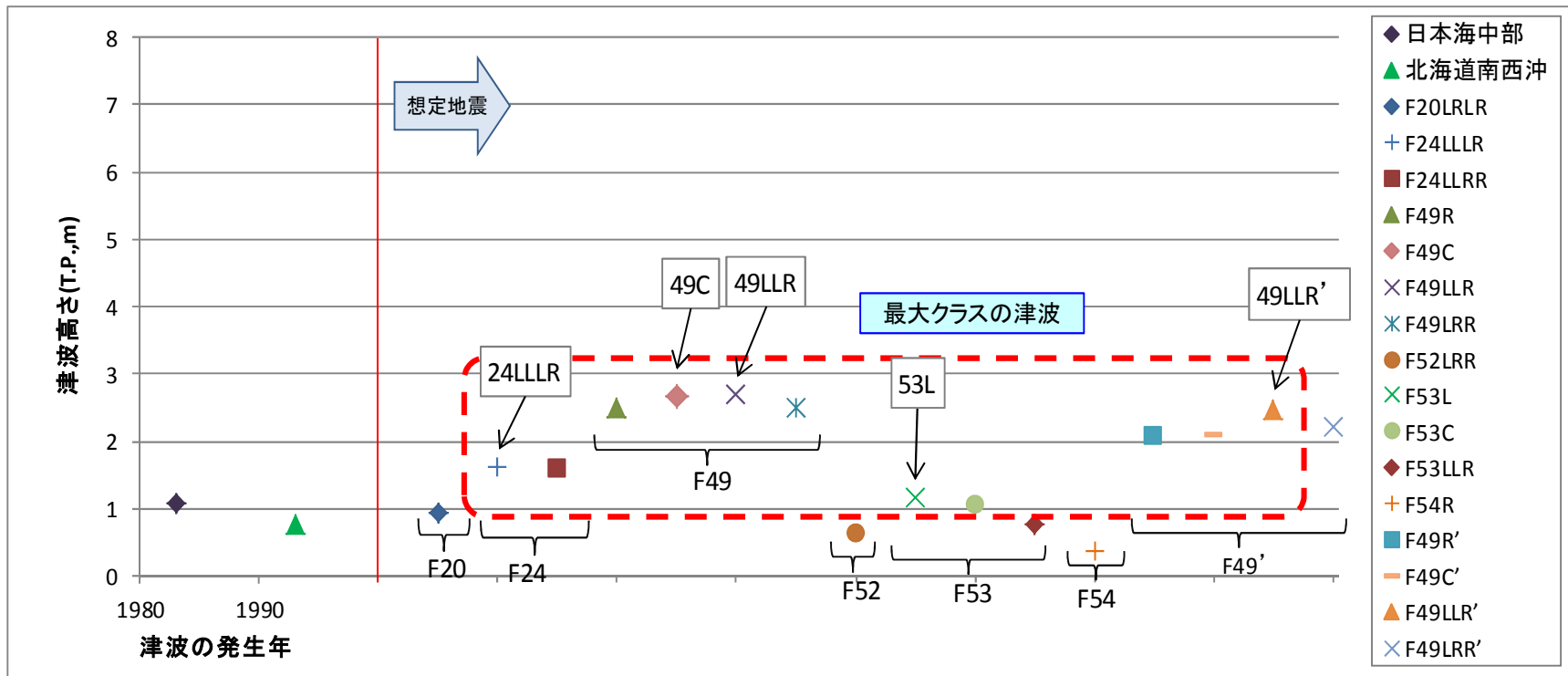
地域海岸の区分(地域海岸2)

地域海岸2
(舞鶴市成生岬～舞鶴市博奕岬)



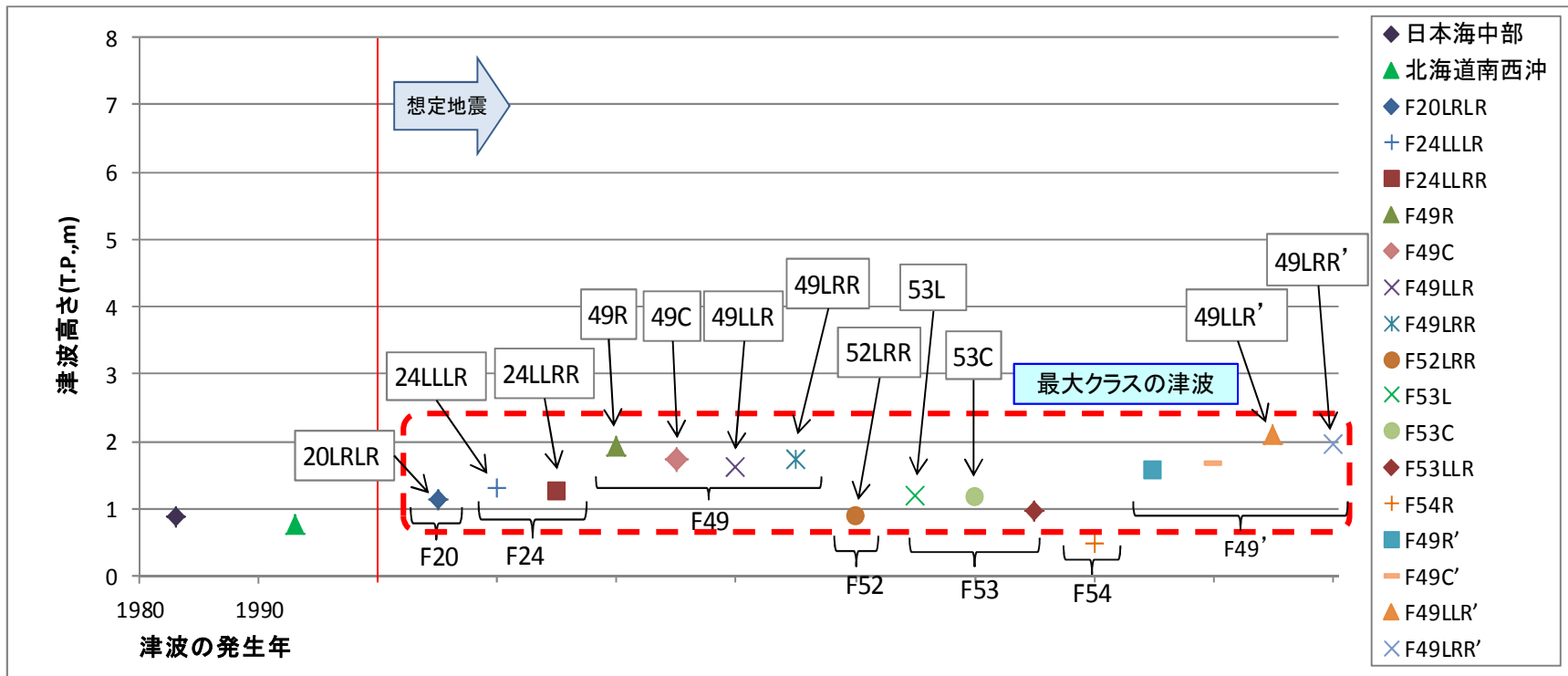
地域海岸の区分(地域海岸3)

地域海岸3
(舞鶴市博奕岬～舞鶴湾入り口)



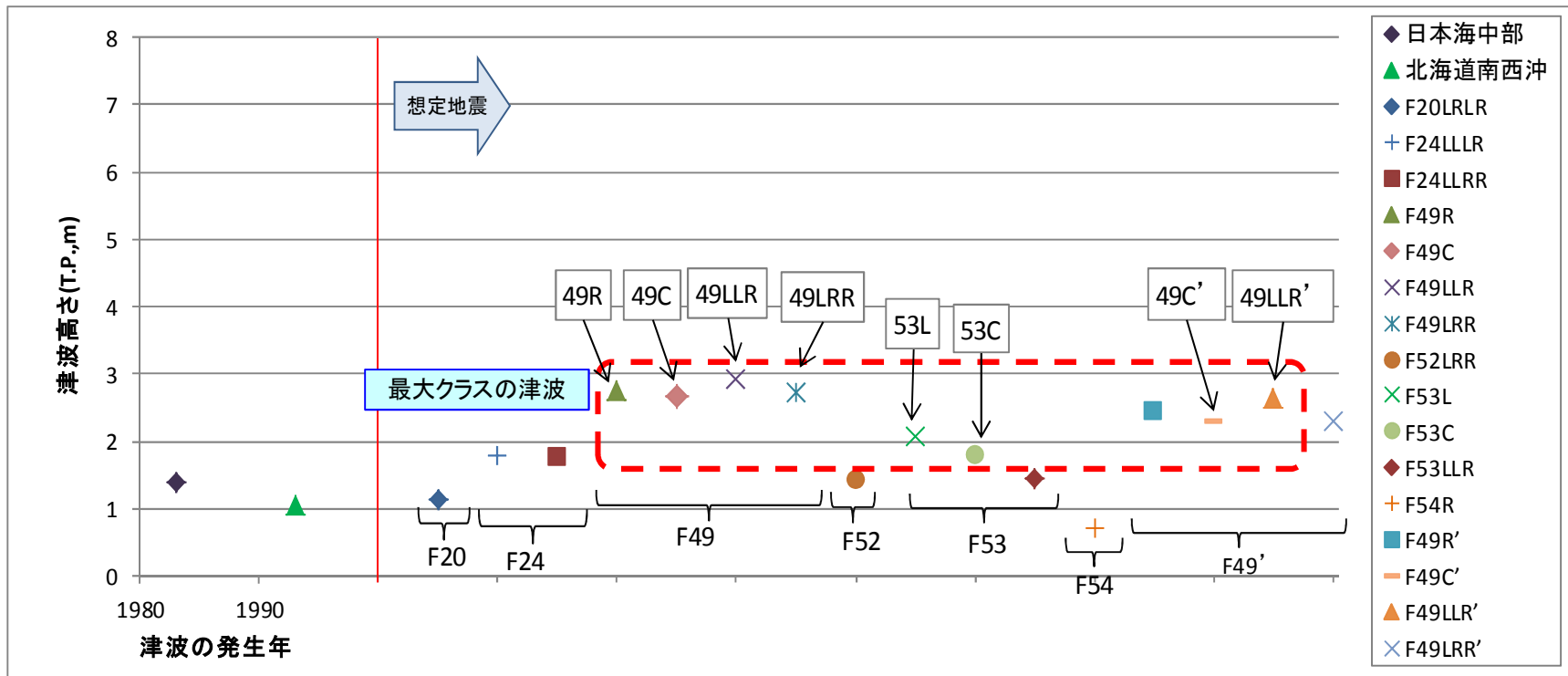
地域海岸の区分(地域海岸4)

地域海岸4
(舞鶴市舞鶴湾)



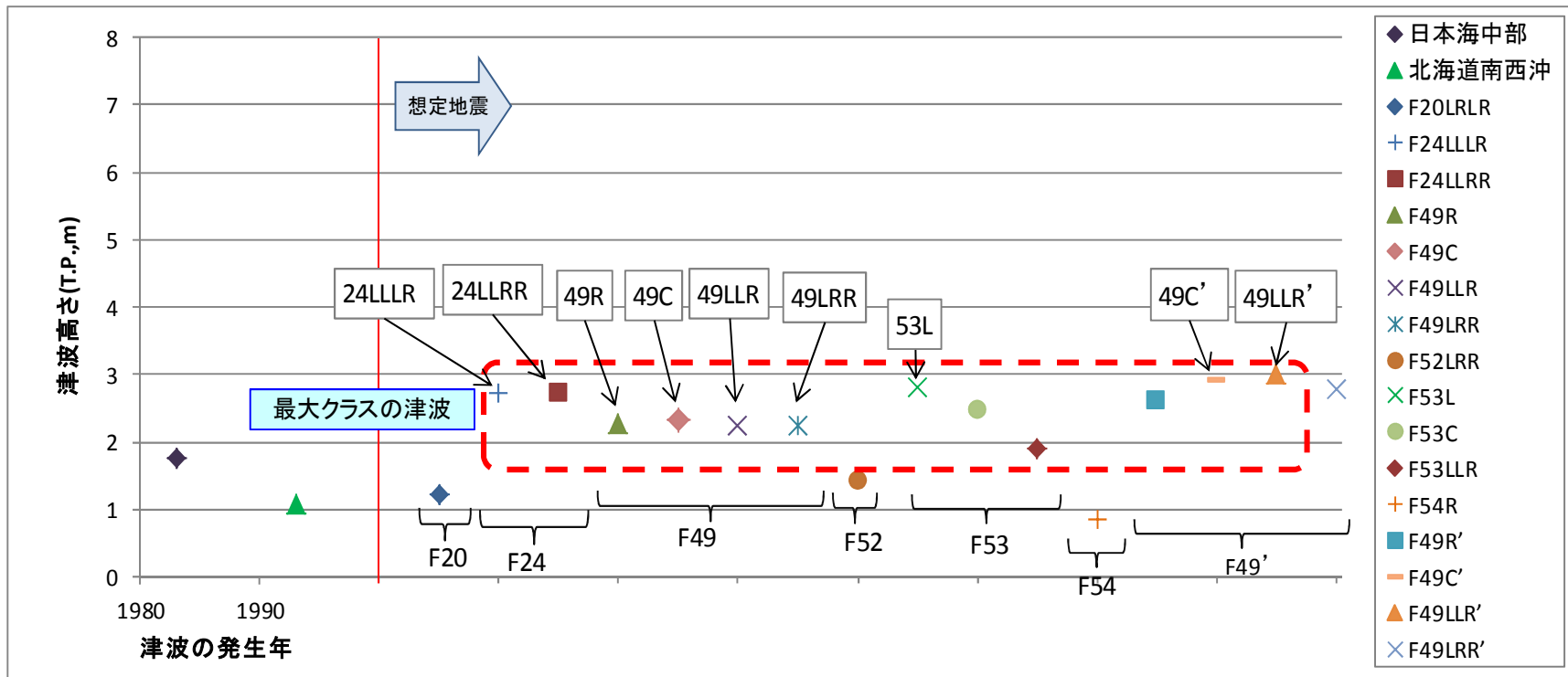
地域海岸の区分(地域海岸5)

地域海岸5
(舞鶴市舞鶴湾入り口～宮津市由良)



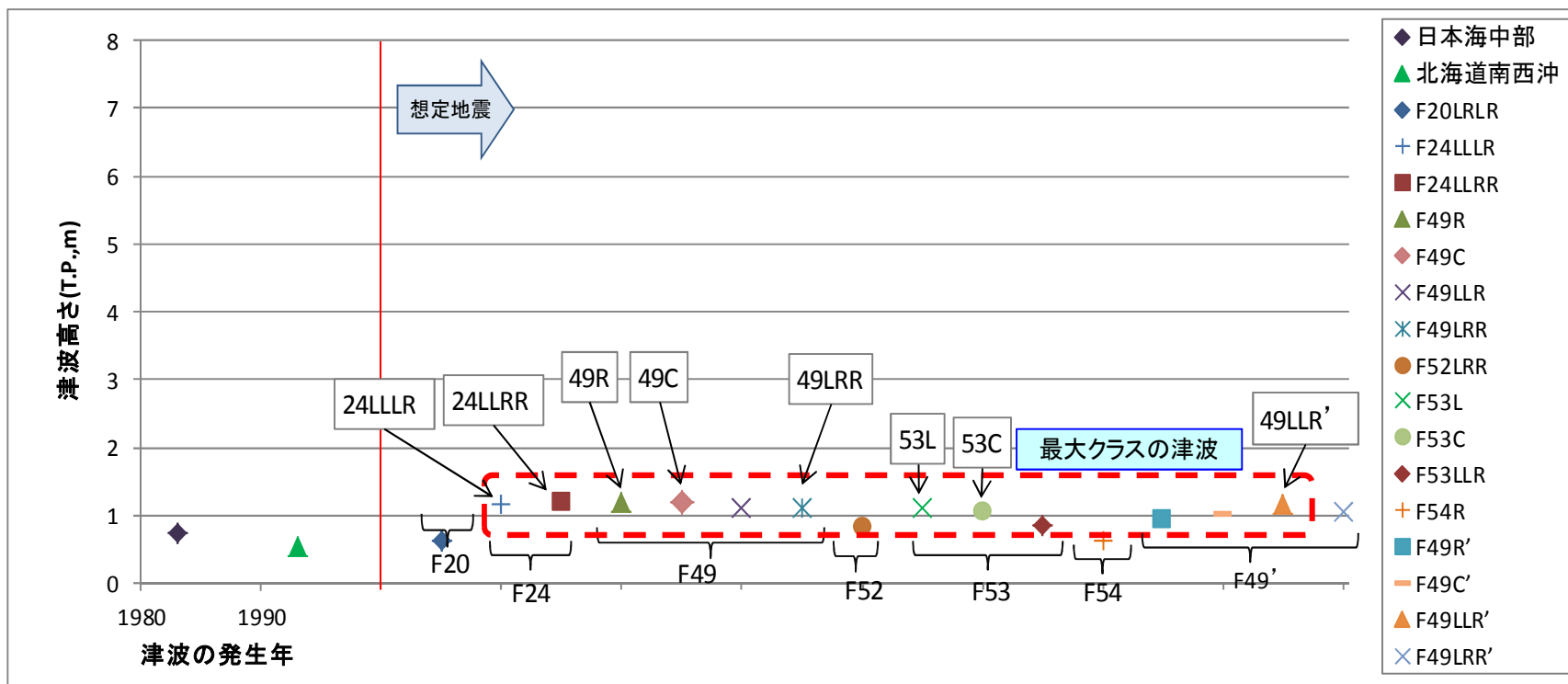
地域海岸の区分(地域海岸6)

地域海岸6
(宮津市由良～宮津市黒崎)



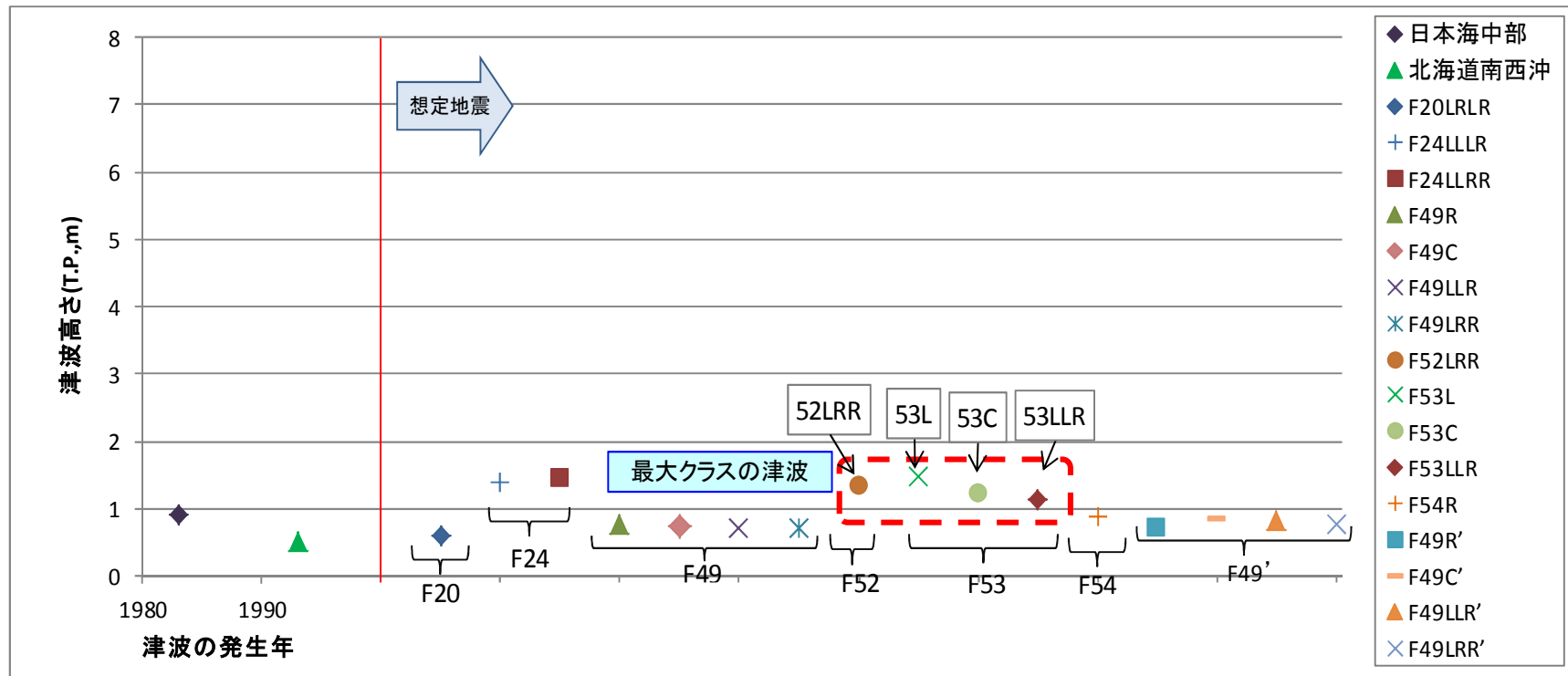
地域海岸の区分(地域海岸7)

地域海岸7
(宮津市黒崎～宮津市田井)



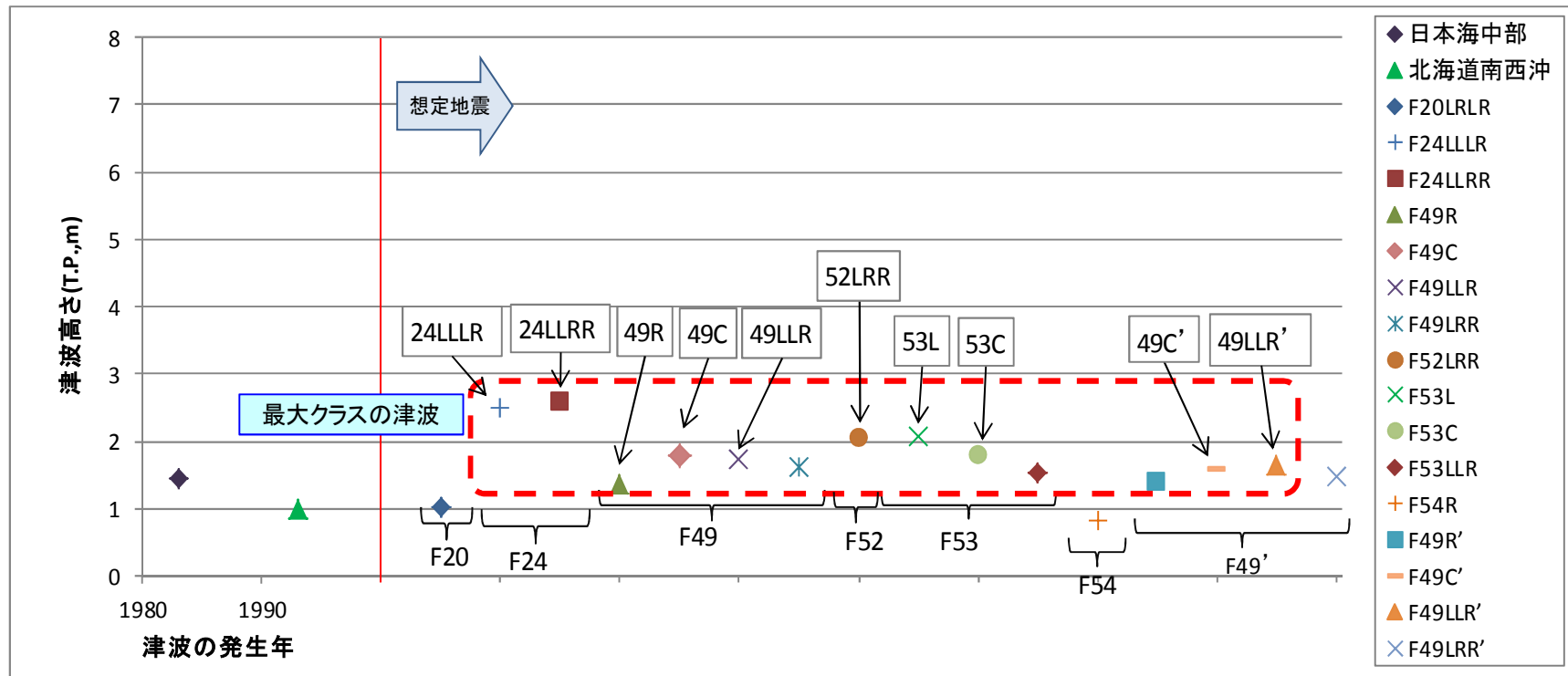
地域海岸の区分(地域海岸8)

地域海岸8
(宮津市田井～宮津市江尻)



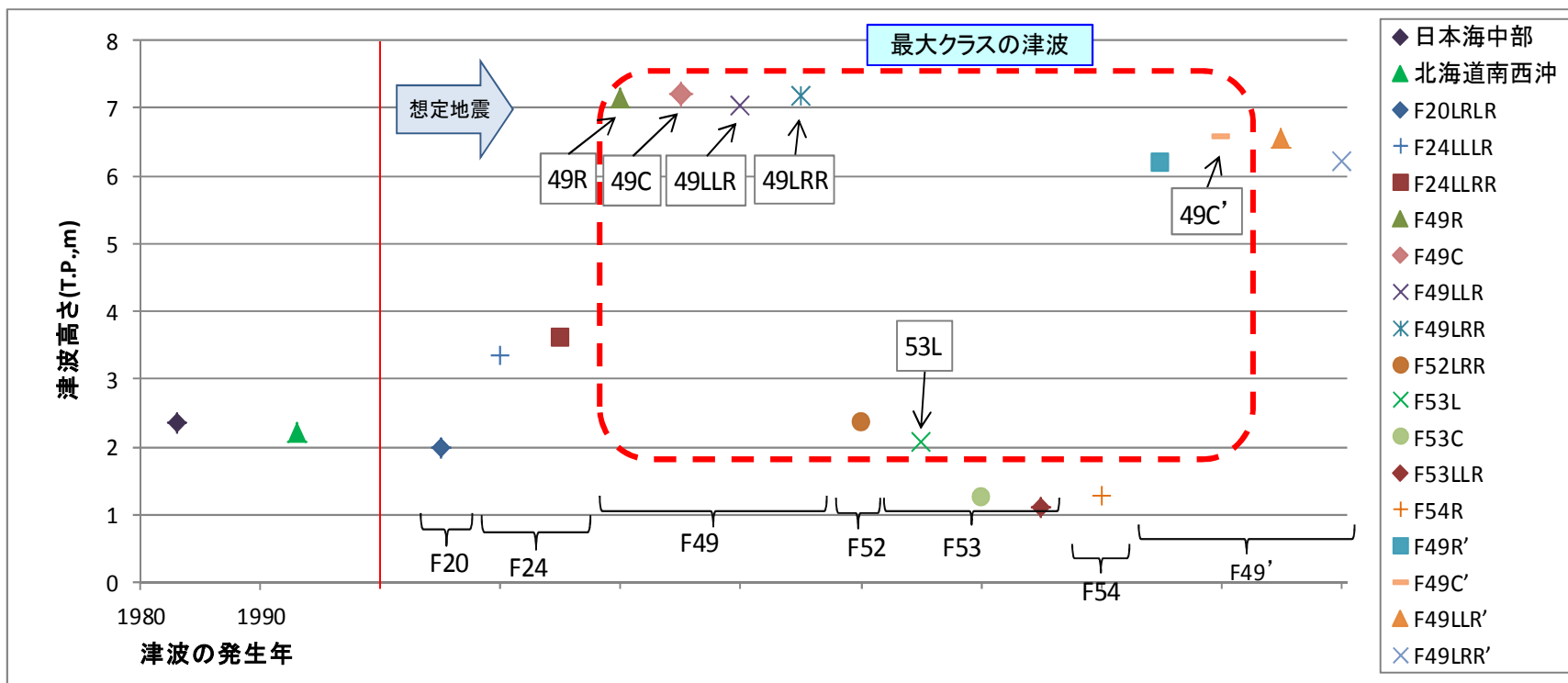
地域海岸の区分(地域海岸9)

地域海岸9
(宮津市江尻～伊根町亀島)



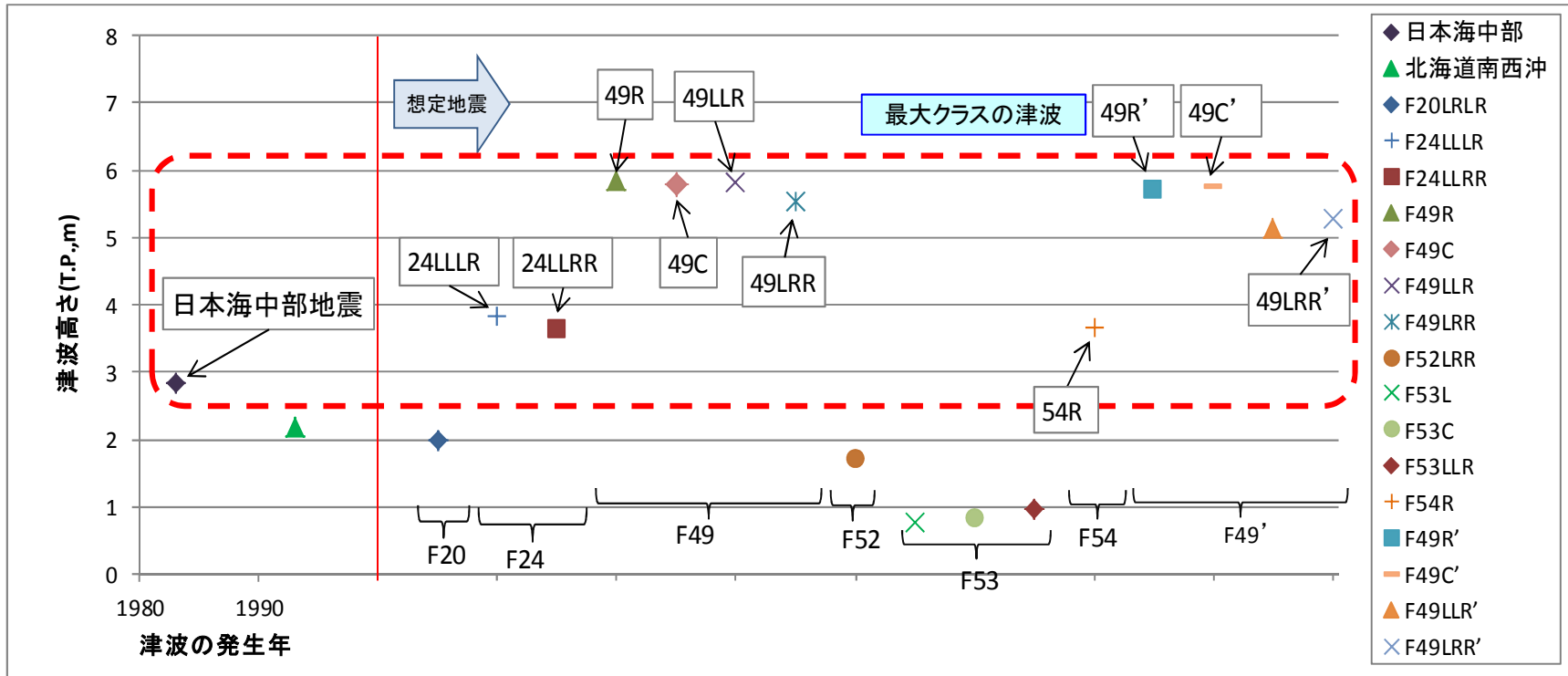
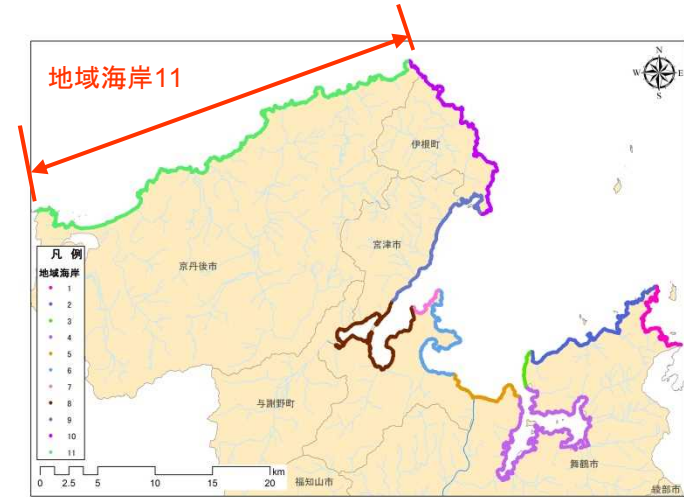
地域海岸の区分(地域海岸10)

地域海岸10
(伊根町亀島～京丹後市経ヶ岬)



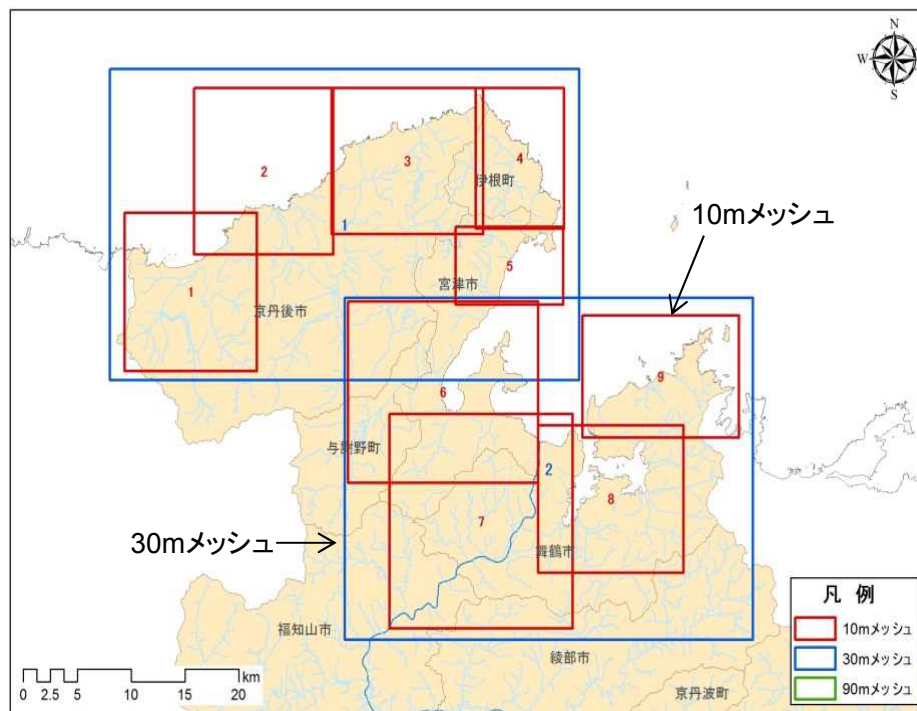
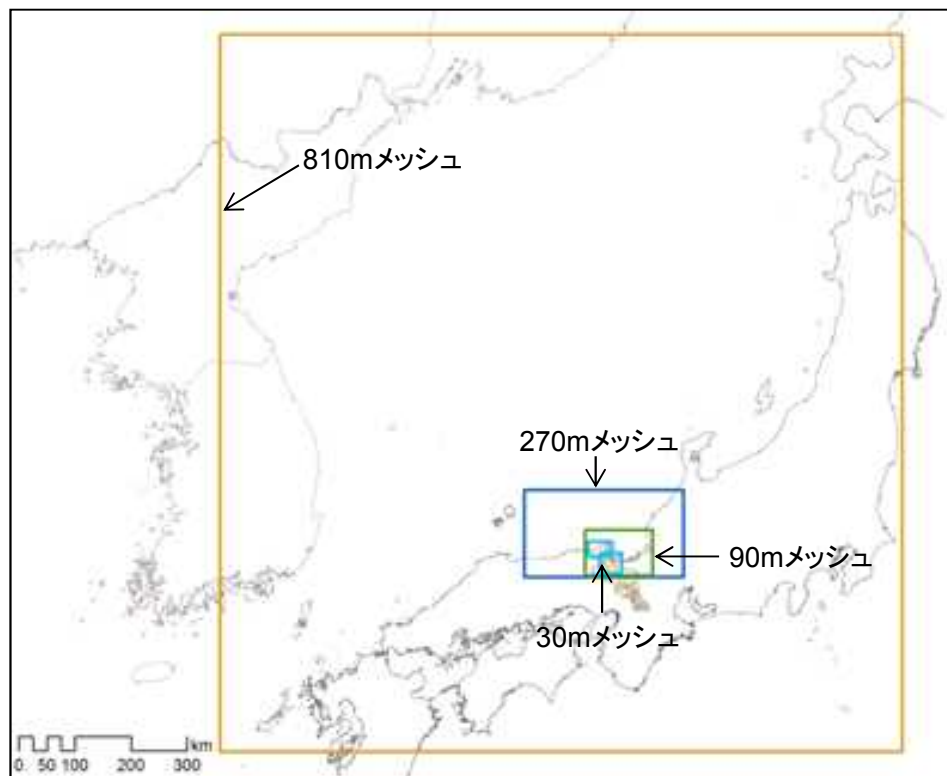
地域海岸の区分(地域海岸11)

地域海岸11
(京丹後市経ヶ岬～兵庫県境)



計算領域及び計算格子間隔

計算領域は、京都府に影響の大きい断層を含む範囲とし、計算格子間隔は陸域から沖に向かい10m、30m、90m、270m、810mとした。



検討体制について

○京都府防災会議 地域防災の見直し部会 京都府津波浸水想定検討委員会
開催状況:平成27年5月～平成28年3月(3回開催)

氏名	現職	分野	備考
林 春男	防災科学技術研究所 理事長	防災全般	◎委員長
澤田 純男	京都大学防災研究所 教授	地震工学	
井合 進	京都大学防災研究所 教授	液状化	
牧 紀男	京都大学防災研究所 教授	防災計画	
鈴木 進吾	防災科学技術研究所 主幹研究員	津波防災	